

談話室 だんわ室



マンチェスターでのテロ事件は、警備の薄いコンサート会場が標的となつて、世界に衝撃を与えた。その地は、1760年代に産業革命の始まった場所、近くに工業製品の積み出し港としてピートルズ発祥のリバプールがある。生産拠点の都市とその流通拠点都市がセット物としてドンキホーテがサンチョ・パンサを従えるように、二つの都市が役割を分担している様子

は、今や世界中のごくでも見られる。神戸出身で大阪で働いている私と似た人が世界中にいるんだらう。

平和憲法は一筋の光明

篠部正夫 (西淀川区)



唯一のわずかな救いは、日本を始めとする不戦平和憲法を持つ国が存在している。最も進んだ平和憲法を持つ日本が今危ない。小国は

日本の急速な格差社会化により、社会的救済を必要とする貧困者の増加が社会の活力を奪いつつある。が、平和憲法のお陰で70年以上も戦争の惨禍から免れている。恩恵を受けるのは日本人だけでなく、世界中の同じ人々にとっても貴重な一筋の光明である。

だが、実際の事象はアナログで進展する。つまり、すべての事象は過去からの継続である。革命も変革も元々人間がつくり出したものだから、人間の叡智で人間の幸せへ転用できる筈だと、樂觀的に考える科学者や政治経済学者や哲学者が頑張った。

だが、産業革命の成果は、第一次、第二次大戦へと殺戮規模を飛躍させつつ繋がり、今地球上の至る所で大小規模の貧富の格差社会を生み出すの種となっている。その紛争たるや、政府軍と反体制側とがロケット砲や戦車などの兵器を駆使して、日本のPKOは平和維持活動どころか、頭上を飛び交う弾丸の下で縮み上がった。幸い日本は、戦死者を出さずに撤退したが、犠牲者を出した国も少なくない。

は集団化して凶悪になる。それを阻止できるのもまた集団なのであれば、明るい先が見えてこない。靴を履いたケダモノは一見賢そうに見えるが、そうでないことを十分痛い目にあって経験したはずだ。それは昔のヒトの経験で今と無関係というのならヒトに未来はない。

2017夏季特集号 投稿・写真を募集

新聞部は、夏季特集号(8月15日付)への会員投稿(原稿・写真)を募集している。

原稿は、600字以内で、テーマは①趣味②日常の臨場③家族や生活のこと④夏の思い出⑤エッセイ・川柳・俳句⑥旅行記など。顔写真を同封して応募する。

写真は、夏の風景や人物写真など。応募は、郵便・ファクス・メールで協会事務局まで。掲載者には薄謝進呈。

【送付先】 ファクス 06-6568-0656 8-773-1 <メール> akira_kin@doc-net.or.jp

浪花物語 八百八橋物語 第5回 深江橋

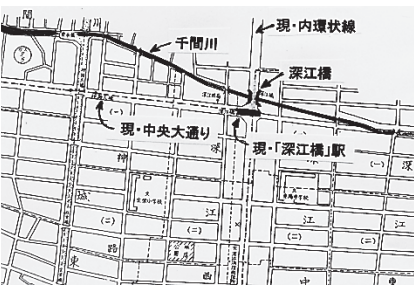
今は無き千間川の木製橋

深江橋を探すため、地下鉄「深江橋」駅を降り、地上に出てあたりをウロウロしてみたら、川らしきものはない。川がないので橋も当然見当たらない。

川に架かる橋として、千間川に架かっていたのは千間川に架かっていた常盤橋・紅橋・曙橋・東橋で、木製、長さ7桁・幅5・4桁とある。



西側から臨む埋め立て前の千間川。奥(うっすう)と大阪城が見える(東成区役所HPより転用)



昭和32年の「東成区史」掲載地図

1996年(平成8)の新しい区史では千間川について「平野川合流点まで約千間(約1・8km)あったことから、この名ができたという。ただ流域が農村地帯であったことは、東大阪方面の地盤沈下もあり、昭和40年代後半に埋め立てられたとある。今は無き千間川に架かっていたのが深江橋だった。

三枚板舟という3面にのみ板囲いをもった小舟で、農産物などを乗せて上下していた」とあり、かつてはこの地域で活躍していた川だった。しかし、周辺地域の地盤沈下もあり、昭和40年代後半に埋め立てられたとある。今は無き千間川に架かっていたのが深江橋だった。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

Association activities including seminars on dental care, economic growth, and disaster prevention. Includes dates, times, and fees for various events.